

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	波照間観光関連施設整備			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光スポットとしての利便性向上、施設環境整備の促進を行い観光客受入体制の整備を図るため、波照間島のニシノ浜トイレ・シャワー施設の機能強化および路上駐車が問題となっている「日本最南端の碑」に新たに駐車場を整備した。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	7,000					
		(b) 予算現額	13,649					
		(c) 増減額 (b-a)	6,649					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	13,649					
	B. 執行済額		13,635					
	うち交付金充当額		10,908					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		・事業内容に沿った予算執行であった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・ニシノ浜トイレシャワー施設整備 ・最南端の碑駐車場整備	目 標	(整備実施)	()	()	()		
		実 績	整備実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	・壁面に亀裂が走るなど塩害による老朽化が著しかったニシノ浜トイレシャワー施設を、観光客が安心安全に使用できるよう補修整備した。 ・近隣に駐車場がなく路上駐車による危険が多かった「日本最南端の碑」に、新たに駐車場を整備したことによって交通安全の向上を図った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	・ニシノ浜トイレシャワー施設の整備着手 ・最南端の碑駐車場整備着手 ・収容台数：0→9台分	目 標	(0台)	(9台)	()	()	()	
		実 績		9台				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	・老朽化していたニシノ浜トイレシャワー施設を整備し終え、観光地の安全性を高めることができた。 ・近隣に駐車場のなかった「日本最南端の碑」に新たに9台分の駐車場を整備したことで、観光地アクセスの利便性向上と路上駐車の見込める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・「日本最南端の碑」は今まで駐車場のなかった施工箇所なので、今回の駐車場整備によるレンタカー等の利用状況および交通状況の変化を調査する必要がある。	・レンタカー等の利用増により駐車場面積の不足が生じた場合は、駐車場の拡張整備を検討する。
今後の取り組み方針		
・島内でも数少ない観光地であり、来島者のほとんどは立ち寄り場所であるにも拘わらず、最寄りの駐車場が数百m離れた「星空観測タワー」であったので、「日本最南端の碑」周辺の路上駐車は近年でも問題視され続けていた。今回新たに駐車場ができたことで、観光客に安心して案内ができるが、島内のレンタカー利用率が上がる場合、交通安全面での設備拡充(ミラーや標識等)や駐車場の敷地拡大を検討しなければならないので、定期整備・清掃を行いながら今後の駐車場利用状況に留意したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>13,635</td><td>13,635</td><td>10,908</td><td>2,727</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 13,635千円 委託料 598千円 (有)基企画 598千円 日本最南端の碑駐車場測量設計にかかる委託業務 竹富町 13,635千円 工事費 13,002千円 (株)一廣工業 13,002千円 日本最南端の碑駐車場・ニシノ浜トイレシャワー施設整備にかかる工事費 竹富町 13,635千円 事務費 35千円 旅費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,635	13,635	10,908	2,727	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,635	13,635	10,908	2,727	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	旧太陽の村危険廃屋解体撤去事業及び公園等整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア			
担当部署名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	価値創造のまちづくり		
事業内容	西表島西部地区の絶景ポイントとして知られる宇那利崎にある、約30年間放置されていた元リゾート施設「太陽の村」の危険廃屋を撤去して島内屈指の優れた自然景観を取戻した。またそれを活かした新たな観光地・憩いの場となる公園を整備するための設計を行った。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	50,883					
		(b) 予算現額	42,324					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 8,559					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	42,324					
	B. 執行済額		42,314					
	うち交付金充当額		33,850					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・測量設計を入札により減額できたほか、ほぼ100%の執行率で、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・旧太陽の村の危険廃屋撤去	目 標	(8棟)	()	()	()	()	
		実 績	8棟					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成 状 況 説 明	・危険廃屋8棟の撤去に伴う調査及び建物撤去が予定通り完了できたことにより、優れた景観が修復された。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	・旧太陽の村危険廃屋撤去 及び公園等整備設計の実施:8棟	目 標	()	廃屋撤去 公園等設計) 8棟	()	()	()	
		実 績		廃屋撤去 公園等設計8棟				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	・危険廃屋の撤去および公園等設計が完了した。次年度の工事着工に向け、自然景観を活かした公園を住民・議会説明も含め進めている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・公園整備計画の段階で、地元等の意見交換会を実施しながら公園整備計画を立てたが、議会から公園整備計画内容や事業費並びに完成後の維持管理についてご指摘頂いたため、内部検討委員会を立ち上げて検討することとした。	・公園整備計画検討委員会を立ち上げ、公園整備等における施設の内容、事業費、完成後における維持管理についての方針等を整理する。維持管理については、指定管理者制度の活用、町の直轄管理を含め利用者の安全快適な利用ができるよう十分な検討を行う。
今後の取り組み方針		
・公園整備計画の内容を改めて検討し、住民・議会に対し十分に理解を得られたうえで、平成25年度から公園整備工事に着手したい。公園利用者が安全快適で、大自然の魅力ある景観を活かし、またレクリエーションなどの機能を十分に発揮できるような公園の整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		42,314	42,314	33,850
				市町村負担金
				8,464
				交付対象外経費
				0
竹 富 町 42,314千円 委託料 12,325千円 工事費 29,925千円 事務費 64千円 石垣設計事務所 1,890千円 (有)三矢エンジニアリング 八重山営業所 10,435千円 (有)池村建設 29,925千円 旅 費 解体撤去に係る調査設計委託業務 公園整備に係る委託設計業務 危険廃屋解体撤去工事				
資金使途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託工事事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	小浜島観光関連事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	カトレ海岸マングローブ林(干潟)へのアクセス道路が未舗装であることや駐車場がないことから、レンタカー・レンタサイクル等での往来に支障をきたしているため、進入路(430m)及び駐車場(460㎡)の整備を計画し、平成24年度は設計と用地取得を行った。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,750					
		(b) 予算現額	3,392					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,358					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,392					
	B. 執行済額		3,391					
	うち交付金充当額		2,712					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・設計委託が入札により当初予算額より低額で実施することができたことと、用地取得が低額で達成できたため、予算現額を減らすことができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・カトレ海岸アクセス道路及び駐車場整備に係る設計及び用地取得の実施	目 標	(設計用地取得)	()	()	()		
		実 績	設計用地取得					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・平成24年度は設計・用地取得について実施完了した。未舗装のアクセス道路及び駐車場整備は平成25年度に着工し、観光客誘致につなげたい。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・カトレ海岸アクセス道路及び駐車場整備に係る設計及び用地取得の実施	目 標	()	(設計用地取得)	()	()	()	
		実 績		設計用地取得				
		目 標	()		()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・進入路430mと駐車場460㎡の設計を終え、用地取得を済ましているので、平成25年度にスムーズに整備着工ができるよう準備し、観光客が安心して訪れるスポットにする。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地元の要望や安心安全の上からも現状にあった設計であり、大型バスや、レンタカー等の利用状況に応じた規模の駐車場整備と考える。	・今後、大型バスやレンタカー等の利用増加により駐車場面積が不足が生じるなどした場合は、駐車場の拡張整備の検討を行う。
今後の取り組み方針		
・今まで未舗装でレンタカー等の乗り入れも困難であった地区であったため、観光客の案内なども消極的であったが、平成25年度事業によりアクセス道路・駐車場整備を行うことで、観光地アクセスの利便性を高め観光客の増加に貢献したい。 ・レンタカーの利用率の増加により駐車場の拡大工事が必要になっていないか、定期点検・清掃の際に確認し検討したい。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,391	3,391	2,712	679	0

```

graph LR
    A[竹富町  
3,391千円] --> B[委託料  
3,255千円]
    A --> C[公有財産購入費  
130千円]
    A --> D[事務費  
6千円]
    
    B --> E["(株)丸島建設コンサル  
タント  
3,255千円"]
    E --- F["カトレ道路及び駐車場測量設計  
にかかる委託業務"]
    
    C --> G[個人有地  
3千円]
    C --> H[個人有地  
127千円]
    G --- I["カトレ道路及び駐車場整備  
にかかる用地買収費"]
    
    D --- J["旅費"]
  
```

The flowchart illustrates the distribution of 3,391 thousand yen from Takamizawa City. The largest portion, 3,255 thousand yen, goes to a commission fee for surveying work by Marushima Construction Consultants Co., Ltd. Another 130 thousand yen covers land purchase fees, split between 3 thousand yen for parking lot improvement and 127 thousand yen for road maintenance. Finally, 6 thousand yen is allocated for travel expenses.

市町村名	竹富町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	西表浦内観光関連事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客の増加に伴う大型観光バス・レンタカー等の増加により既存の駐車場は手狭で浦内川周辺の交通が混雑しているため、駐車場の拡大整備を行った。 南駐車場 1960㎡ 北駐車場 788㎡+840㎡							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	57,264					
		(b) 予算現額	45,366					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 11,898					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	45,366					
	B. 執行済額		45,359					
	うち交付金充当額		36,068					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・駐車場設計委託料および南駐車場工事費が入札により当初予算よりも減額することができた。予定していた事業内容を遂行し、適切な予算であった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・西表浦内の駐車場整備に係る設計及び整備の実施	目 標	（ 設計・整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	設計・整備					
	・用地取得の実施	目 標	（ 駐車場用地取得 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	駐車場用地取得					
達成状況説明	・南北両駐車場の設計は完了した。南駐車場は用地取得し、整備を実施した。来年度舗装のみで完成予定である。 ・北駐車場は用地取得に向けて引き続き土地交渉を行う。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	・西表浦内の駐車場に係る用地取得、設計及び整備の実施	目 標	（ ）	（ 設計・整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		設計・整備				
	・用地取得の実施	目 標	（ ）	（ 駐車場用地取得 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		駐車場用地取得				
	進捗状況説明	・設計においては両駐車場ともに完了し、南駐車場(A=1960㎡) の整備は暫定的に完成した。平成25年度に舗装のみの工事行う。 ・北駐車場の1ヶ所(788㎡)は完了し、後の1ヶ所(840㎡) は平成25年度整備を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地元の要望や安心安全の上からも現状にあった設計であり、大型バスや、レンタカー等の利用状況に応じた規模の駐車場整備である。 ・北駐車場予定地(未整備 840㎡)の一部用地取得交渉が難航している。	・大型バスやレンタカー等の利用状況に応じ面積が不足が生じた場合は駐車場の拡張整備を行う。 ・北駐車場の用地取得交渉を継続するか、計画の変更をするか検討委員会を設けたい。
今後の取り組み方針		
・検討委員会の中で北駐車場の用地取得交渉の継続・駐車場計画の変更など、今後の計画を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
45,359	45,359	36,068	9,291	0

竹富町
45.359千円

委託料
3,503千円

工事費
27,264千円

公有財産購入費
14,175千円

事務費
417千円

(有)基企画
840千円

(株)沖縄不動産
総合鑑定所
2,467千円

(株)沖縄不動産
総合鑑定所
196千円

(有)池村建設
18,969千円

栄進建設
8,295千円

個人有地
2,263千円

個人有地
11,912千円

旅費

浦内川南・北駐車場測量設計
にかかる委託業務

浦内川駐車場物件補償
にかかる委託業務

浦内川駐車場不動産鑑定評価
にかかる委託業務

浦内川南駐車場整備
にかかる工事費

浦内川北駐車場整備
にかかる工事費

浦内川北駐車場整備
にかかる用地買収費

浦内川北駐車場整備
にかかる用地買収費

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	仲御神島周辺海域資源有効活用調査等事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光リゾート産業の振興	
						Ⅲ-1-(4)	
事業内容	仲御神島の自然資源の有効活用と、今後の安定した観光産業に資するため、同島の自然保護と調査研究を推進する体制づくりを含めた新たな観光資源を発掘する調査を行った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	105,020				
		(b) 予算現額	72,085				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 32,935				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	72,085				
	B. 執行済額		71,816				
	うち交付金充当額		57,372				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		・委託料が予定より低額で行えたため、予算減額できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・仲御神島及び周辺海域の自然保護に関する調査 ・仲御神島及び周辺海域の観光資源発掘調査	目 標	(自然・観光資源 有効活用調査)	()	()	()	
		実 績	自然・観光資源 有効活用調査				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	・仲御神島及び周辺海域の自然保護に関する調査、及び仲御神島及び周辺海域の観光資源発掘調査において、各種情報及びデータを収集し、自然保護及び調査研究との共栄が図られた価値の高い観光メニューの創出調査に取り組んだ。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (29年度)
	・仲御神島及び周辺海域の自然保護に関する調査 ・仲御神島及び周辺海域の観光資源発掘調査	目 標	(一)	(資源有効 活用調査)	()	()	(新規観光メ ニュー創出)
		実 績		資源有効 活用調査			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗 状況 説明	・自然保護のために必要な調査・研究を推進する観光として、海からのアクセスに加え、波照間空港を活用でき、かつ静穏なサンゴ礁域が存在する本町の特質を活かせる航空機材等の導入について調査した。また、新たな充実した観光プログラムの作成に向けたシステムの内容を取りまとめた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・空を活用した周遊観光について、多くの方から教育や観光面での活用を希望し、観光として十分に成り立つという調査結果をまとめたが、一部の観光事業者からは、多額の資金を要する航空機材等を用いた運営が現実的に可能であるかどうか、更なる検証が必要であるとの指摘があった。	・今回の調査等の結果を踏まえ、平成25年度以降も民間事業者とタイアップしたモデル事業を展開し、採算性の問題や、運営方法等について検討する。
今後の取り組み方針		
・学識者、関連する行政・研究機関、及び事業者間が対象地域に最適な観光と教育システムについて検討する協議会等の設立、又は既存協議会等の活動の場において、適切な観光資源の利用を含めた新たな観光メニューの開発について検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>71,816</td><td>71,816</td><td>57,372</td><td>14,444</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 71,816千円 委託料 71,715千円 事務費 101千円 株水圏科学コンサルタント 71,715千円 旅費 仲御神島周辺海域資源有効活用調査等委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	71,816	71,816	57,372	14,444	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
71,816	71,816	57,372	14,444	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	竹富町観光振興基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制整備		
						Ⅱ-10-(1)		
事業内容	竹富町の観光振興基本計画を策定し、観光を中心とした各島の拠点形成を図る上で必要なルールの策定、関連施設の整備や開発計画の適正な誘導配置に取り組み、自然環境に配慮した通年型・滞在型観光を育成することを目的に観光振興の方針を定めた。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,423					
		(b)予算現額	5,879					
		(c)増減額(b-a)	▲544					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	5,879					
	B.執行済額		5,810					
	うち交付金充当額		4,647					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		98.8%					
予算の状況の説明		・事業内容に即した予算措置であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	観光振興基本計画の策定	目標	(基本計画策定)					
		実績	基本計画策定					
		目標						
		実績						
達成状況説明	・近年の社会経済状況や観光産業に関連する諸変化を踏まえ、平成18年度に策定した『竹富町観光振興基本計画』の見直しと、特に自然環境に対する配慮や観光ニーズの変化に対応した受け皿の整備、竹富町内各島の現状に即した観光の在り方などを盛り込み、島々の多彩な個性を活かした滞在交流型「観光まちづくり」を理念とし、5つの基本方針と22の施策を計画し、新たな町の観光振興の方針を定めた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)	
	観光振興基本計画の策定	目標	()	(基本計画策定)			(22施策の達成)	
		実績		基本計画策定				
		目標	()	()			()	
		実績						
	進捗状況説明	・本事業の実施において策定した22の施策のうち、本計画達成の指標として「観光まちづくり推進を行うための組織体制」の構築をあげ、計画期間の平成29年度までに「(仮称)竹富町観光まちづくり公社」の創立を目指す。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・竹富町の観光産業は、八重山圏域の基幹産業であり、同時に農水産業との6次産業化の動きの中で、基軸的な役割を果たしている。しかし、外的要因による変動が激しいのも観光産業の特徴なので、その動態を随時把握しながらもしっかりとした方向性を定めなければならない。 ・したがって、6次産業化に向けた観光と他産業の連動や、近隣外国から1000人規模の大型クルーズ船が定期的に石垣港に寄港するようになって、中国・台湾などアジア諸国からの観光客が増加・定着しつつあるというような新たな潮流、既存の周遊型観光の形態及び団体から個人へと旅行形態が変化しているといった点を十分に検討・考慮しなければならない。	・これまで基本計画は5年置きの見直しを行っていたが、これまで通りの期間では変化の速度に十分な対応ができないため、本計画より中間年での見直しの実施を織り込み、都度の修正を行うことで改善できるような内容とした。 ・また、計画された具体的施策の実施に向けて、行政内に各課横断型の実施体制を構築し、竹富町観光協会や竹富町商工会と連動することで、縦割体制の弊害や齟齬を少なくし、「観光」を基軸とした各施策へ反映・検証を行う事で、改善余地を担保できるようにする。
今後の取り組み方針		
・計画の中で、1) 八重山圏域としての経済活性化を目指して、2) 「観光まちづくり」により地域の魅力を観光客に体感してもらう取組、3) 「観光まちづくり」による観光客と地域が結びつくための取組、4) 「観光地域づくり」「観光まちづくり」を推進する多彩な人材の育成、5) 世界自然遺産の登録を目指して、の5つを基本方針としており、これに基づく計22の施策を随時実施していく。 ・「観光まちづくり整備計画」の策定に向けて町内の関係団体を網羅した組織とする「(仮称)竹富町観光まちづくり協議会」の発足に向け、行政内に各課横断型組織の立ち上げ及びその運営を平成25年度の目標とする。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	5,810	5,810	4,647	1,163
				交付対象外経費
				0
竹富町 5,810千円 委託料 5,500千円 策定委員会 210千円 事務費 100千円 (株)プラネット・フォー まちづくり推進機構 5,500千円 委員報酬 145千円 費用弁償 65千円 〔 旅費等 〕 〔 竹富町観光振興基本計画策定にかかる委託業務 〕 〔 策定委員会実施に係る委員報酬 〕 〔 策定委員会実施に係る費用弁償(旅費) 〕				
資金の用途、流れ、費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は随意契約であったが、前回計画策定にも関わっており、その企業組織、これまでの実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・費目・使途については、各会合とそれに伴う経費であり、事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		竹富町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		1－⑦		観光客誘致対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ		
担当部署名		商工観光課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場に特化した誘客活動の展開	
事業内容		竹富町・石垣市・与那国町と連携し、八重山・竹富町への観光客誘致を目的に、県内各地をはじめ、国内外も含めた観光客誘致プロモーションを実施した。入域観光客数の量的な充足を踏まえて、持続可能なバランスのとれた観光交流空間の創造へと導く為に、自立に向けた地域主体の観光振興、豊かな自然の保護と共存共栄を図り、竹富町の観光を支える組織及び人材育成と地域資源の保護・保全・無形文化を継承する地域コミュニティの強化を図った。							
実施方法		□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算の状況		(a) 当初予算額	15,955				
				(b) 予算現額	15,948				
				(c) 増減額 (b-a)	▲ 7				
				(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)		15,948					
		B. 執行済額		15,606					
		うち交付金充当額		12,484					
		次年度繰越額		0					
		執行率（％）(B/A)		97.9%					
予算の状況の説明		・事業目的に即した観光客誘致プロモーションを十分に行うことができた。							
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		観光誘致活動		目 標	(開催13箇所)	()	()	()	
				実 績	国内13箇所 国外2箇所				
				目 標	()	()	()	()	
				実 績					
達成状況説明		・目標としていた開催箇所数は、国内外の活動を合わせ、計15箇所となった。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)	
		観光客誘致活動来場動員数		目 標	(ー)	(10万人)	()	()	()
				実 績		32万人			
		【参考指標】 入域観光客数		目 標	(77万人)	(80万人)	()	()	(100万人)
				実 績		93万人			
		進捗状況説明		・観光客誘致活動来場動員数は、全15会場合計で目標を大幅に上回る32万人の来場があった。 ・平成20年の113万人をピークに減少を続けていた竹富町の入域観顧客数は、リーマンショックを始め長引く景気低迷や東日本大震災の影響からようやく脱しようとしている。当初目標とした平成24年度における入域観光客数80万人に対して93万人と、反動を考慮しても十分な入域増となっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・竹富町の観光産業は、八重山圏域の基幹産業であるが、天候や為替相場・世界情勢など外的要因による変動が激しいことが特徴であり、誘客活動の成果が即座に反映されているかに対しては、より慎重に見ていかなければならない。 ・また、誘客活動の成果を把握するためにも、都度の入域観光客の推移を正確に把握しなければならず、その増減の影響も、人数のみならず季節や島ごとの動向、消費額や旅行形態など多くの要因を考慮して行かなければならない。	・実施内容に関しては、限られた体制の中で、誘客活動の各項目に対して優先順位や重み付けをより重要視し、動員数や実施による周知・誘客への影響・規模など、より効果的な誘客活動が出来るようにする。 ・成果目標に関しては、これまで竹富町の入域観光客数は、5年に1度行う観光客の混在率調査を基に係数を算出し、これを各月・各島毎に用いている。これを更に短周期で、尚かつより詳細な項目を把握出来るような調査方法に切り替えることによって、誘客活動の及ぼす影響(成果)を詳細に把握できるようにする。
今後の取り組み方針		
・これまで「八重山はひとつ」として圏域での活動の中で、竹富町の誘客活動を行ってきており、今後もこれを継承して事業を展開する。その上で、受け入れ体制の強化を図るため、「観光まちづくり」により地域の魅力を観光客に体感してもらう取組や、「観光まちづくり」による観光客と地域が結びつくための取組を随時実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,606</td><td>15,606</td><td>12,484</td><td>3,122</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 15,606千円 委託料 13,858千円 竹富町観光協会 13,858千円 事務費 1,748千円 観光客誘致にかかる委託業務 旅費等					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,606	15,606	12,484	3,122	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,606	15,606	12,484	3,122	0										
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は随意契約であったが、本町の観光施策に深く関わっており、その企業組織、これまでの実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については、各活動への参加とそれに伴う経費であり、事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	由布島駐車場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	県内・八重山郡内でも人気の高い観光地、由布島を訪れる観光客は年間約20万人で、そのほとんどが観光バス及びレンタカーにより当駐車場を利用しているが、駐車場は未舗装のため車両通行による路面土砂の損傷や雨天時の海への流出等により凹凸が生じていた。持続的な環境整備による快適な利用と路面土砂の流出を防ぐため、駐車場の舗装整備を行った。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,900				
		(b) 予算現額	19,216				
		(c) 増減額 (b-a)	2,316				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	19,216				
	B. 執行済額		19,215				
	うち交付金充当額		15,372				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・執行率がほぼ100％であり、適正な予算であった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	由布島駐車場の整備 （1箇所 2,000㎡舗装）	目 標	（ 2,000㎡舗装 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	2,000㎡舗装				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・今まで未舗装だった由布島駐車場（1箇所 2,000㎡舗装）を舗装整備したことで、観光客をより快適に受け入れる体制が整えられた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度）
	由布島駐車場の整備の実施	目 標	（ ）	（ 整備実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		整備実施			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・増加傾向にある由布島観光客に対し未舗装の駐車場しかなかったため、路面土砂の損傷や雨天時の海への流出等により凹凸が生じていたが、今回の駐車場整備により快適な観光と路面土砂流出を防ぐことが期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地元の要望や安心安全の上からも現状にあった設計であり、大型バスや、レンタカー等の利用状況に応じた規模の駐車場整備である。	・今後、大型バスやレンタカー等の利用が増加し駐車場面積が不足が生じた場合は、駐車場の拡張整備を検討する。
今後の取り組み方針		
・定期整備・清掃を行いながら、交通安全面での設備拡充(ミラーや標識等)や駐車場の敷地拡大を検討していく。 ・由布島観光に利用する水牛車の足などに影響が現れていないか検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,215</td><td>19,215</td><td>15,372</td><td>3,843</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 竹富町 19,215千円 委託料 493千円 (有)横目測量設計 493千円 〔 由布島駐車場測量設計にかかる委託業務 〕 工事費 18,690千円 (株)海邦土木 18,690千円 〔 由布島駐車場整備にかかる工事費 〕 事務費 32千円 〔 旅費 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,215	19,215	15,372	3,843	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,215	19,215	15,372	3,843	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	竹富町観光振興動画ナビ整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本町が有する日本最南端の西表国立公園や多様性に富んだ優れた自然環境、地理的、歴史的、伝統文化等、島々の特性を生かした竹富町の魅力をPRするため、国内外の方へインパクトのある観光PR用の映像を制作した。本動画により持続的に利用可能な観光地づくりを推進するとともに知名度を向上させ観光誘客につなげる取組を行った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,849				
		(b) 予算現額	6,848				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,848				
		B. 執行済額	6,847				
		うち交付金充当額	5,477				
		次年度繰越額	0				
		執行率（％）(B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光PR用ソフト（島々編・祭編）の制作 （島々編）竹富島・黒島・小浜島・波照間・西表島・鳩間島・新城島 （祭編）竹富島（種子取祭）・黒島（豊年祭）・小浜島（結願祭）・波照間（ムシャーマ）・西表島祖納・干立（節祭）・鳩間島（豊年祭）	目 標	（ 島々編7島のDVD制作 祭編7地区のDVD制作 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	島々編7島のDVD制作 祭編7地区のDVD制作				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・本町有する世界的に貴重な観光資源である各島・各祭ごとの観光PR用動画ソフトを制作した。今後は全国各地でのPR活動として放映することで本町の知名度を上げ、入域観光客数の増加に貢献する。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	観光PR用ソフト（島々編・祭編）の作成	目 標	（ ）	（ 島々編DVD作成 祭編DVD作成 ）	（ ）	（ ）	（ 入域観光客 113万人 ）
		実 績		島々編DVD作成 祭編DVD作成			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・平成25年6月以降開催予定の県外等における観光プロモーションにおいて現地での観光PR用ソフトの放映を予定している。 ・公共施設・HPを活用した配信を検討している。 ・本町の平成27年度における入域観光客数はピーク時（20年度）を目標値としている。放映前であるが、平成24年度の入域観光客数は93万人と増加傾向にあるので、目標値に向けて支援できるよう有効に放映・配信したい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・国外における観光プロモーション時の効果について、外国人観光者向けの多言語情報が必要である。 ・単純に動画を配布するのではなく、人目に効果的に触れる場所・サイトを検討し、放映しなければならない。	・多言語プロモーションDVDの編集を検討する。 ・各言語に対応しているだけでなく、その国の特性に合わせた打ち出し方とレイアウトの編集を検討する。 ・大手企業のPR広告などを参考に、有効に活用される場所・サイトを検討する。
今後の取り組み方針		
・新石垣空港の開港に伴い、県内外から入域観光者の増加が見込まれている。観光協会等と連携しながら竹富町の魅力を積極的にPRし、入域観光客数の増加を図る。		

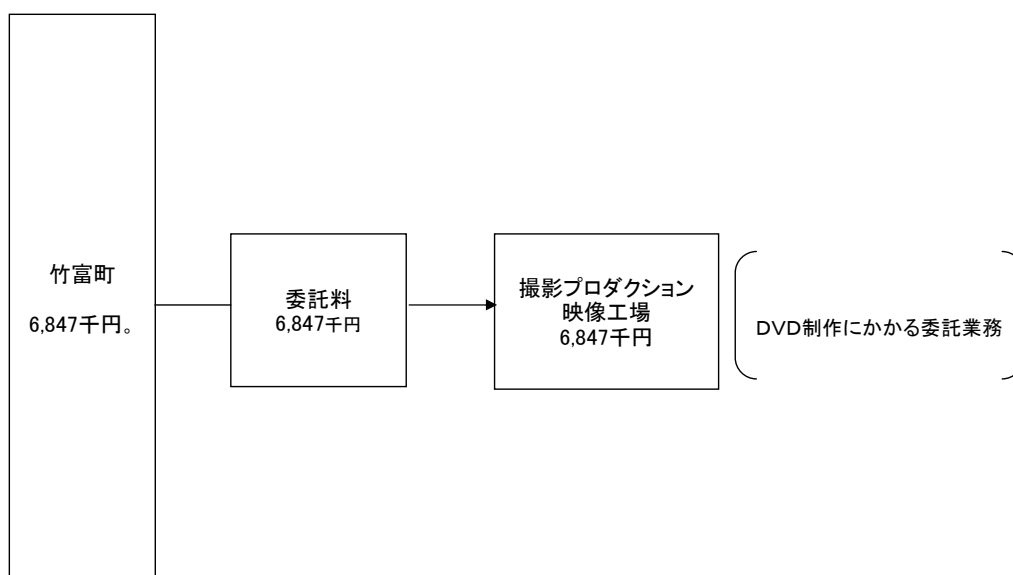
今後の取り組み方針

・新石垣空港の開港に伴い、県内外から入域観光者の増加が見込まれている。観光協会等と連携しながら竹富町の魅力を積極的にPRし、入域観光客数の増加を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金		交付対象 外経費
		充当額	市町村 負担金	
6,847	6,847	5,477	1,370	0



資金の 流れ、 費目・ 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、本事業に係る業務内容に精通しているほか、企業組織、実績、知識等を勘察した上で随意契約しており、妥当であったと考えている。 ・事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩	種子取祭会場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ	
担当部署名	教育委員会 総務課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成	
事業内容	種子取祭は国の重要無形民俗文化財に指定されている竹富島の最大行事である。その奉納芸能会場である世持御嶽神前舞台の鉄骨組みの老朽化が著しいので、演者や見学者の安全を確保するためにも既設舞台の撤去及び移動式骨組み設置工事を行った。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	9,156				
		(b) 予算現額	9,146				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 10				
		(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,146					
	B. 執行済額	7,951					
	うち交付金充当額	6,361					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	86.9%					
予算の状況の説明	・委託費及び工事費が指名競争入札により減額となった。事業目的については達成された。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	仮設式奉納舞台テント設置	目 標	（ 舞台テント設置 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	舞台テント設置				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・老朽化の激しい既設の固定式鉄骨組を撤去し、収納移動できる仮設式の舞台テントを整備した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）
	仮設式奉納舞台テント設置	目 標	（ ）	（ 舞台テント設置 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		舞台テント設置			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・収納移動できるテントにしたことで、通常時は格納していることで周囲の景観を保持できる。 ・祭時にスムーズに使用できるよう、管理委託する地域住民に使用方法を指導していく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・実際に使用する地元住民の要望を取り入れた舞台装置・規模となっており、事業推進上特に問題はなかった。	・地域住民が実際に祭事で安全に使用できるように、またテントの維持管理ができるよう指導する必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成25年度以降の祭で実際に使用し、演劇に支障はないか・観客にも危険性がないか留意する必要がある。安全に利用できるよう維持管理の指導を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>7,951</td><td>7,951</td><td>6,361</td><td>1,590</td><td></td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,951	7,951	6,361	1,590	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,951	7,951	6,361	1,590											
竹富町 7,951千円 委託料 599千円 → 登野原設計室 599千円 (種子取り祭会場整備設計 にかかる委託業務) 工事費 7,350千円 → 宮良鉄工所 7,350千円 (種子取り祭会場整備設計 にかかる工事費) 事務費 2千円 (旅費)														
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑫	竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	地域における生活情報や観光情報を地元住民が参画して情報発信できるシステムの構築と、各島々の情報を地域住民が互いに共有するとともに、地域住民と観光事業者がホスト役として連携し、島々の魅力を発信できるサイトの構築を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	64,288					
		(b) 予算現額	57,931					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,357					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	57,931					
	B. 執行済額		57,783					
	うち交付金充当額		46,200					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.7%					
予算の状況の説明		・委託料が予定より減額となったため、予算減額することができた。適正予算であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・情報アプリの調査・開発	目 標	(調査・開発)	()	()	()	()	
		実 績	調査・開発					
	・Wi-Fi等情報環境の調査	目 標	(調査)	()	()	()	()	
		実 績	調査					
	・情報発信システムの調査・開発・構築	目 標	(調査・開発・構築)	()	()	()	()	
		実 績	調査・開発・構築					
	達成状況説明	・「地域総合ポータルサイト」を構築するとともに、そのリソースを最大限に活用していくための観光ナビアプリの開発や、Wi-Fi等整備に向けた調査に取り組むことができた。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
・情報アプリの調査・開発:1件		目 標	(-)	(アプリ調査・開発1件)	()	()	()	(アプリ開発2件)
		実 績		アプリ調査・開発1件				
・Wi-Fi等情報環境の調査:30箇所		目 標	(-)	(Wi-Fi設置30箇所調査)	()	()	()	(Wi-Fi設置30箇所)
		実 績		Wi-Fi設置30箇所調査				
・情報発信システムの調査 ・情報発信システムの開発		目 標	(-)	(調査・開発)	()	()	()	()
		実 績		調査・開発				
進捗状況説明		・構築したポータルサイトの充実化を図るとともに、町内の公共施設や観光名所等を対象としたWi-Fi等情報環境整備調査の実施により、30カ所の環境整備箇所を設定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・「地域総合ポータルサイト」のリソースを最大限に活用していくためのデジタルサイネージ整備について、地域住民、事業者等からのヒアリング調査等において、「適当な設置場所がなく、十分な案内機能として期待できない」、「維持管理等に多額の費用を要する」などの意見があり、地域においてニーズが低いことが分かった。	・デジタルサイネージの必要性については、引き続き検討を重ねることとし、平成25年度においての整備工事は実施しないこととした。
今後の取り組み方針		
・デジタルサイネージの機能をスマートフォンで享受できるようなオリジナルアプリの開発に取り組むとともに、地域特派員制度(仮称)を創設し、システムの多角的な活用とITリテラシー向上等に向けた人材育成に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>57,783</td><td>57,783</td><td>46,200</td><td>11,583</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 57,783千円 委託料 57,750千円 事務費 33千円 株NTT西日本沖縄支店 57,750千円 旅費 竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	57,783	57,783	46,200	11,583	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
57,783	57,783	46,200	11,583	0										
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑬	仲本海岸アプローチ整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3-(12)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
Ⅲ-1-(1)								
事業内容	黒島の仲本海岸は多くの観光客が訪れる場所でありながら、砂浜へのアプローチは急勾配の岩場を通り抜けなければならない、転倒の危険性を伴っていた。本事業では仲本海岸の安全性確保のため、砂浜へのアプローチを整備した。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,500					
		(b) 予算現額	3,500					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,500					
	B. 執行済額		3,416					
	うち交付金充当額		2,732					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		97.6%					
予算の状況の説明		・事業内容に即した予算措置であった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	黒島仲本海岸アプローチ整備の実施	目標	（ アプローチ整備の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績	アプローチ整備の実施					
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績						
達成状況説明	・既存のアプローチは急勾配で転倒の危険が多いものだったが、本事業で整備したことで、観光客や高齢者が訪れやすい海岸となった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）	
	黒島仲本海岸アプローチ整備の実施	目標	（ ）	（ アプローチ整備の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績		アプローチ整備の実施				
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
	進捗状況説明	・当海岸の整備を行ったことにより、住民・観光客の安全面が確保され緊急時において人命救助の際に、安全かつスムーズな対応ができ、当海岸の利便性が向上したと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・海岸へのエントリーの便利さに伴い、緊急時の避難経路や救助が的確に行われる設計にしなければならない。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・設計段階において、避難・救助等を実際に行う地元住民の意見を取り入れた。
	今後の取り組み方針 ・本海岸の整備を行ったことにより、住民・観光客の安全面が確保され緊急時において人命救助の際に、安全かつスムーズな対応ができ、当海岸の利便性が向上したと考えられる。今後は潮風になど経年劣化による、手すりなどの錆・老朽化を防ぐために定期的に点検・メンテナンスを実施する。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
3,416	3,416	2,732	684	0

竹富町
3,416千円

委託料
500千円

→

登野原設計室
500千円

〔 仲本海岸アプローチ整備測量
・設計にかかる委託業務 〕

工事費
2,903千円

→

宮良鉄工所
2,903千円

〔 仲本海岸アプローチ整備
にかかる工事費 〕

事務費
13千円

→

旅費

〔 〕

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	風景づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	価値創造のまちづくり		
事業内容	地域景観資源を保全・再生し、観光振興に活用するため、景観形成方策及び景観形成基準に関する検討を行い、竹富町の景観計画を策定した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,413					
		(b) 予算現額	5,197					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 216					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	5,197					
	B. 執行済額		5,158					
	うち交付金充当額		4,126					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.2%					
予算の状況の説明		・ほぼ100%の執行率で、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	景観計画の策定	目 標	(景観計画策定)	()	()	()		
		実 績	景観計画策定					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・景観法に基づく景観計画の策定に向け、平成22年度から景観に対する住民意識の把握を行うためのアンケート調査を行い、各島の景観づくりに対する考え方、景観特性や課題の整理、景観資源マップの作成などを実施した。また地域ごとでの町民を対象にワークショップやシンポジウム等を3年間開催し、住民の意見を反映した景観計画を今年度でまとめることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(34年度)	
	景観計画の策定	目 標	()	(景観計画策定)	()	()	()	
		実 績		景観計画策定				
	【参考指標】 準景観地区指定	目 標	(1箇所)	(0箇所)	()	()	(1箇所)	
		実 績						
	進捗状況説明	・景観法に基づく景観計画策定は予定通り完了した。今後は、自主的な取り組みとして重点地区指定への支援を行い、最終的には準景観地区指定に向け取り組んでいく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまで各地域でワークショップを開催し、住民の意見を反映した景観計画を策定したが、全ての住民へ景観計画の周知を十分に図ることが重要であるため、広報等を活用しながら周知・徹底を図りたい。	・景観計画に対する理解を深めるとともに、町民等の主体的な取り組みの促進を図るため、町ホームページへの掲載や景観に関する各種情報提供を行い、町民や事業者等と連携・協力しながら島々の個性を活かした景観づくりへ取り組んでいく。
今後の取り組み方針		
・景観まちづくりを進めて行く為には、関連法制度を活用した取り組みとともに、町の自主的な取り組みが求められている。そのため、普及・啓発の推進や、表彰制度・助成制度の創設とともに、町民・事業者・行政が連携・協働を図る為の体制を構築していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,158</td><td>5,158</td><td>4,126</td><td>1,032</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 竹 富 町 5,158千円 委託料 4,305千円 事務費 853千円 (株)都市科学政策研究所 4,305千円 報償費、旅費、 会場賃借費 景観計画策定にかかる 委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,158	5,158	4,126	1,032	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,158	5,158	4,126	1,032	0										
資金の用途、点検・評価項目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は指名入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	観光景観地指定文化財美化保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部署名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	本町は貴重な文化遺産である指定文化財や景勝地を有している。地域住民の文化財愛護意識を高め観光資源としての活用をさらに進めるため、それらの美化清掃を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,250					
		(b) 予算現額	3,250					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	3,250					
	B. 執行済額		2,272					
	うち交付金充当額		1,817					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		69.9%					
予算の状況の説明		・当初の計画より実施箇所の検討に時間を要した事や、事業の委託先として想定していた地域公民館における事業受け入れ体制の制約によって、予算執行率は低調なものとなった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	観光景観地・指定文化財美化保全実施	目 標	（ 美化保全の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	美化保全の実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	・平成24年度は5地区で美化保全の事業を実施することができた。そのうち3地区では地域住民で事業を実施したが、地域住民では実施が困難な箇所については業者に委託し、集中的に美化保全を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	観光景観地・指定文化財美化保全実施箇所数 ・国指定文化財：4箇所 ・県指定文化財：1箇所 ・町指定文化財：8箇所	目 標	（ ）	（ 13箇所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		16箇所				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	・実施箇所については、計画以上の場所で実施することができたが、一年を通じて適切な状況を維持するためには実施回数も検討が必要。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・平成24年度は地域住民の視線から美化保全が必要と思われる観光景勝地指定文化財で事業を実施したが、観光への活用面等の視点からも実施箇所を検討する必要があると思われた。 ・事業の受け入れ先となる地域公民館も様々な事業を抱えているため、地域の中にも主体となって活動してもらえる人材育成が必要と思われた。 ・竹富町の実施計画と地域公民館の実情に乖離があつて、十分な予算執行ができなかった。	・観光事業者との連携や、地域での学習会の実施等を行うことにより地域住民の文化財愛護意識を高め、かつ行政との連携を高めて次年度以降の事業効率化を図る。
今後の取り組み方針		
・文化財の現地学習会の実施や、観光業者とも連携したモニターツアーを実施し、観光景勝地指定文化財の活用を図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		2,272	2,272	1,817
				市町村負担金
				455
				交付対象外経費
				0
竹富町 2,272千円 委託料 2,242千円 事務費 30千円 (需用費、旅費等) (有)仲間土木 1,113千円 (波照間島下田原城跡の清掃作業等委託) 竹富公民間 411千円 (竹富島内史跡の清掃業務等委託) (有)上原建設 283千円 (新城島タカニクの清掃作業等委託) 祖納公民間 225千円 (西表島祖納地区文化財の清掃業務等委託) 鳩間公民間 210千円 (鳩間島内史跡の清掃業務等委託)				
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先については当初の計画どおり地域公民館としたが、公民館が対応できない箇所については、町の財務規則により業者へ委託したので、選定方法は妥当と考える。 ・事業は精算払いで、費目・使途が事業目的に即したものが確認して支出したので、費目・使徒は適正である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	黒島地区主要路線ギ木化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業であるが、島内各所には遊牧用に有刺鉄線が張り巡らされている。観光地に適した景観を形成するため、牧柵を有刺鉄線からギ木に替え、ガードレールの役割も果たす設計を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	34,484					
		(b) 予算現額	14,499					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 19,985					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	14,499					
	B. 執行済額		14,499					
	うち交付金充当額		11,598					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・指名競争入札により設計委託費が当初予算より大幅に減額となった。計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	観光アクセス道路ギ木設置延長に係る設計の実施	目 標	(設計の実施)	()	()	()		
		実 績	設計の実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・主要6路線 14,000mに渡ってギ木化事業の設計を行った。既存の有刺鉄線とガードレールをギ木化することで、観光地に適した景観となる。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	観光アクセス道路ギ木設置延長に係る設計の実施	目 標	()	(設計の実施)	()	()	()	
		実 績		設計の実施				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・工区分けした設計に基づき、平成25年度以降順次着工していく。ガードレールをギ木化することで、畜産産業の中心地である島の景観と融合したまちなみ景観の形成が期待できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・主要6路線すべての車道両端部にギ木を設置する計画なので、路線ごとのギ木設置箇所の優先順位や有効性を検討をする必要がある。	・事業路線延長が長く事業期間が長期になることから、早期の事業効果の発現を図るため、整備路線の優先順位やギ木の設置箇所など地域住民の意向を踏まえ景観に優れた道路を選定していく。
今後の取り組み方針		
・住民説明会を開催し地元の意向を十分に踏まえ、優先して整備する路線及び設置箇所の選定を行い工事を実施する。また、工区分けをすることにより、事業効果の早期発現を図る。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,499	14,499	11,599	2,900	0

竹富町
14,499千円

委託料
14,490千円

有限会社 三矢エンジニアリング
14,490千円

黒島主要路線ギ木
化事業調査測量設
計にかかる委託業
務

事務費
9千円

旅費

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は指名競争入札により決定したので、予算使途等適正と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	観光道路美化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章1-(6)-イ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	主要な観光スポットを結ぶアクセス道路の、通行の安全確保や島々のまちなみと融合した景観の形成を図り、観光地としての質を高めるための美化保全清掃を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,696					
		(b)予算現額	6,859					
		(c)増減額(b-a)	2,163					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	6,859					
	B.執行済額		6,858					
	うち交付金充当額		5,486					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・事業内容に即した予算であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	観光アクセス道路美化保全	目標	(道路美化保全)	()	()	()		
		実績	道路美化保全					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・観光地へのアクセス道として観光客の利用頻度の高い4路線を美化清掃し、植栽活動を延38mに行った。 観光アクセス道路植栽美化延長:38m 内訳:竹富一周線10m 細崎線10m 住吉1号線10m 波照間海岸線8m 観光アクセス道路美化保全景観形成延長:12,900m 内訳:竹富一周線3,285m 細崎線3,033m 住吉1号線2,512m 波照間海岸線4,078m							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	観光アクセス道路美化保全景観形成延長:12,900m(清掃)	目標	()	(12,900m)	()	()	(640m)	
		実績		12,900m				
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	・観光地へのアクセス道路の清掃および植栽美化をしたことにより、観光地景観の満足度向上が期待できるとともに、地元住民の日頃からの清掃意識の芽生えが期待できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・委託事業を一業者に一括した結果、天候による影響を受ける(船欠航等)ために事業の進捗が計画よりも遅れていた。 ・植栽美化後の維持管理が課題である。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・島毎に委託することによって、清掃回数を増やした計画ができる。 ・維持管理に関しては、地域の協力が必要である。
	今後の取り組み方針 ・島別に委託を行うことによって、清掃回数及び植栽美化延長の増加を図る。 ・地域住民の要望をリサーチして、維持管理に協力してもらう体制を構築する。	

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
6,858	6,858	5,486	1,372	0

```

graph LR
    A[竹富町  
6,858千円] --> B[有限会社富成造園  
委託料 6,783千円]
    A --> C[町担当職員  
旅費 75千円]
    B --- D[観光道路美化推進事業にかかる委託業務]
    C --- E[観光道路美化推進事業にかかる旅費]
  
```


市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑤	竹富町デIGOヒメコバチ防除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ		
担当部課名	農林水産課課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の保全・再生・適正利用 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	近年、デIGOヒメコバチによる県花であるデイゴを開花させず、枯死させる被害が拡大している。沖縄らしさの象徴でもあるデイゴを保護するため、害虫のデIGOヒメコバチの防除するための薬剤等を購入した。薬剤投入は4～6月が適しているため、今年度は薬剤の準備に留まり、次年度早々に防除作業を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☒ その他（消耗品）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,541					
		(b) 予算現額	2,206					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 335					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,206					
	B. 執行済額		2,205					
	うち交付金充当額		1,764					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・事業内容に対し十分な予算であった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	ヒメコバチ防除薬剤購入	目 標	（ 薬剤購入 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	薬剤購入					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	・今年度はデIGOヒメコバチ防除薬剤等を購入した。次年度事業で薬剤注入を行う。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	ヒメコバチ防除薬剤購入	目 標	（ ）	（ 薬剤購入 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		薬剤購入				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	・薬剤投与予定地区分の薬剤1000本を購入できたので、平成25年度事業にて薬剤を投与し、デイゴの開花率を高める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・デイゴの開花時期に合わせて春に薬剤が注入できるよう、通年事業として薬剤購入の次期を考慮する。	・今後の薬剤注入対象地域の検討と、実際の開花率向上が計れる指標を検討する。
今後の取り組み方針		
・平成25年度一括交付金事業を早期着手して、春に薬剤が注入できるよう事業計画を立てる。 ・薬剤の効果を計る指標として、開花率等の調査方法を検討する。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

```

graph LR
    A[竹富町  
2,205千円] --> B[薬剤購入費  
2,205千円]
    B --> C[第一農薬株式会社  
2,205千円]
    C --> D[薬剤等の購入]
      
```

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,205	2,205	1,764	441	0

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	・費目使途については事業目的達成の観点から必要なもの のか等について額の確定時において支出等に関する書類 により確認、適正であった。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑥	竹富町（西表島）ペット適正化飼養推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア		
担当部課名	自然環境課・自然環境係	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生物多様性の保全			
事業内容	西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅の恐れのあるイリオモテヤマネコの保全を目的に、西表島におけるペット適正飼養についての普及啓蒙活動を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,006					
		(b) 予算現額	6,004					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	6,004					
	B. 執行済額		6,004					
	うち交付金充当額		4,803					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・事業内容に対し、適正な予算であった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・講演会開催	目 標	（ 講演会開催 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	講演会開催					
	・ノラネコ捕獲	目 標	（ ノラネコ捕獲 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	ノラネコ捕獲					
	・収容個体処理	目 標	（ 固体処理の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	固体処理の実施					
	達成 状況 説明	・西表島内の2公民館、2小学校、船舶会社、役場職員等ヘイリオモテヤマネコの保全やペット適正飼養及び竹富町ねこ飼養条例等の周知を目的に講演会を6回開催し、啓蒙活動の実施とした。 ・目撃情報をもとにノラネコの保護捕獲をおこない、14頭のノラネコ保護捕獲を行った。 ・保護個体のマイクロチップ有無やウイルス検査を行い、マイクロチップにより3頭の所有者を特定し適正飼養指導を行い、里親ボランティア募集の後、引取り手の無い11頭を町外へ搬送した。						
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （ 23年度 ）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度 ）
ペット適正飼養推進講演会の開催		目 標	（ 0回 ）	（ 3回 ）	（ ）	（ ）	（ 3 ）	
		実 績		6回				
ノラネコ捕獲・収容個体処理		目 標	（ 15頭 ）	（ 9頭 ）	（ ）	（ ）	（ 6 ）	
		実 績		14頭				
進 捗 状 況 説 明		・地域や関係機関への啓蒙活動として講演会を6回実施したが、住民へのネコ条例や適正飼養等の周知徹底には至っていない。次年度以降も引き続き、年4回程度の講演会の開催やポスター等による啓蒙活動を実施する必要がある。 ・活動指標であるノラネコ保護捕獲数9頭を上回る14頭のノラネコを保護捕獲した。捕獲されたネコの内、マイクロチップの確認により3頭が登録済ネコであることが判明した事は、依然としてネコ条例や適正飼養に関し住民への周知が徹底されていない事を確認する結果となった。						

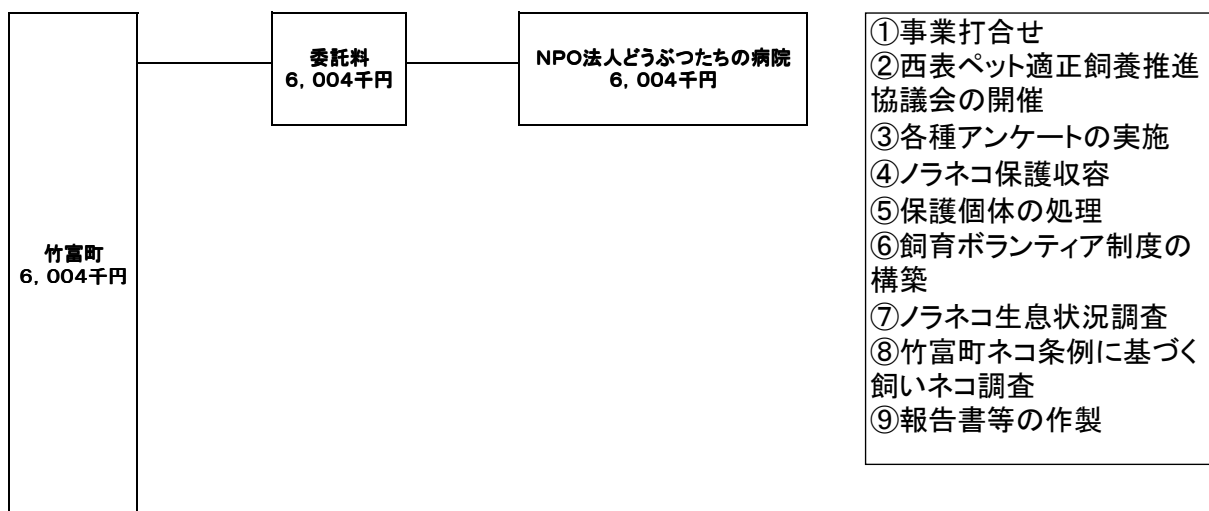
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまで住民及び関係機関への竹富町ネコ条例やペット適正飼養についての啓蒙活動の取組が散発的であった為、周知がなされていない。 転入者による島外よりのネコ持込みや、旅行者等(キャンパー)による一時的なネコ持込みも数件、確認されており住民登録時などにネコ登録制度について周知強化を図る他、町外(県内・県外)での竹富町ネコ条例の周知も必要であると考えられる。 ・西表島内にてネコを飼育する住民や、イリオモテヤマネコの保護等に携わる諸団体と行政との連携が希薄である為、情報の共有化がなされていない。 これまで九州獣医師会によるボランティアで11年間の間、無料実施されてきた混合ワクチン接種やマイクロチップ施術他について、同会によるボランティア事業が終了した為、ウイルスに起因する各種疾病の発生やマイクロチップ装着率の低下が予想される。	・年1回の協議会の開催、年4回程度の講演会の開催や、年間を通じての各種啓蒙活動(ポスター掲示・チラシ配布)を複数年、継続して実施することで条例等の周知や転入者へ住民登録時におけるネコ飼養の有無の確認の強化や旅行者への対策として船舶会社の協力のもとに乗船時の確認作業(登録済カードの所持確認等)も有効な対策である。 ・ヤマネコ保護に関わる団体等、ネコ関係機関で構成するペット適正飼養協議会を年1回開催し、官民の連携を密にし情報の共有化を図る。 過去11年間にわたる九州獣医師会による事業実施は、マイクロチップの高い装着率や各種疾病の発生防止などヤマネコ保全に大きく寄与してきた。同事業は町主体となり継続して実施しなければならない。
	今後の取り組み方針	
	・西表ペット適正飼養推進協議会を年1回開催し、情報を共有化し官民一体となってペットの適正飼養とイリオモテヤマネコ保全に取り組む。 ・ネコ登録カードの運用方法を検討(島外からのネコ持込防止対策:乗船時のカード確認等)しネコ登録数の向上やネコ持込対策を図る。 ・年間を通じてノラネコの保護収容を地域住民が従事し、実施する。捕獲にあたっては従事者へ事前講習を受講させ、在来生物の錯誤捕獲等を防止する。 ・保護捕獲されたノラネコはマイクロチップの有無を確認し、獣医師により必要な検査他を実施する。 ・里親募集中のネコを飼育するボランティア制度を向上・発展させ、新たな参加登録者も募集する。 ・竹富町ネコ条例やペット適正飼養推進の普及啓発を目的に講演会等を年4回程度開催する。 ・竹富町ネコ条例に基づき登録された全てのネコについて現況調査を行い、併せて未登録ネコの早期登録を図る。 ・九州獣医師会による事業を引き継ぎ、ウイルス検査、混合ワクチン接種他を実施し、西表島でのペット適正飼養とイリオモテヤマネコ保全を推進する。	

今後の取り組み方針

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,004	6,004	4,803	1,201	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先は企業組織、実績、知識等を勘案した上で随意契約しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	竹富町和牛生産推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と精算供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本町の主産業のひとつは畜産業であるが、離島ゆえの地理的経済不利が生じている。市場競争で負けないよう、優良で高品質な和牛生産を推進するため、口蹄疫侵入防止対策として、各離島港湾に消毒用マットを設置し、消毒薬散布等を実施した。また、優良母牛購入費用の一部を助成した。							
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 ■その他（消耗品）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,463					
		(b) 予算現額	9,463					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	9,463					
	B. 執行済額		9,369					
	うち交付金充当額		7,494					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.0%					
予算の状況の説明		・不要額が95千円発生しているが、優良母牛導入助成金の導入額、防疫対策委託料及び需用費の残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	離島港湾靴底消毒用マット設置	目 標	（ 消毒用マット設置 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	消毒用マット設置					
	優良遺伝繁殖雌牛導入助成	目 標	（ 導入助成 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	導入助成					
達成状況説明	・町内の港湾に靴底消毒用マットを設置し、防疫対策を実施したことによって、防疫対策による信用性の向上による畜産の品質向上が図れる。 ・優良遺伝繁殖雌牛の導入費を一部助成したことで、竹富町畜産牛のブランド力向上を図った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数：40頭	目 標	（ 0頭 ）	（ 40頭 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		43頭				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	・優良遺伝繁殖雌牛導入の目標が40頭であったが、予算の範囲内で43頭の導入が出来た。今後も継続して行うことにより、竹富町として牛のブランド力を向上し、販売価格を高める。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・優良遺伝繁殖雌牛導入事業については、申込者に対して予算が足りず、導入出来ない農家の方がいた。また、年間の導入頭数を増やして欲しいという要望があった。	・農家の方々に年間何頭導入出来るかを調査し、予算の増額、導入頭数の増が必要である。
今後の取り組み方針		
・今後も竹富町内の港湾に靴底消毒用マットの管理委託による防疫対策を実施し、優良遺伝繁殖雌牛導入についても、農家の方々が年間何頭導入出来るかを調査し、ニーズにあった増頭を図り、竹富町の和牛改良推進を図るためにもこの導入事業を継続していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,369</td><td>9,369</td><td>7,494</td><td>1,875</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 9,369千円 委託料 809千円 業務委託者 809千円 防疫対策にかかる委託業務 補助金 7,958千円 沖縄県農業協同組合 7,958千円 導入農家 7,958千円 優良遺伝繁殖雌牛導入に係る経費の補助 事務費 602千円 需用費等					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,369	9,369	7,494	1,875	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,369	9,369	7,494	1,875	0										
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業務者は各地区肉用牛生産組合で勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町妊婦支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-ア	
担当部課名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフネットの充実	
事業内容	竹富町には産婦人科の医療機関がなく、妊婦は町外の出産施設へ検診・出産待機する必要がある、経済的負担となっている。妊娠出産にかかる経済的負担を軽減し定住環境の充実を図るため、竹富町に住所を有し、母子健康手帳の交付を受けた者が、妊婦健康診査を受診する際に船舶及び航空機を利用する場合に、それぞれの運賃を支給した。また、待機宿泊については、36週以降の妊婦が沖縄県内の宿泊施設で出産のため滞在した宿泊費について1泊2千円を限度として支給した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,374				
		(b) 予算現額	1,330				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,044				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,330				
	B. 執行済額		882				
	うち交付金充当額		705				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		66.3%				
予算の状況の説明		・年度途中からの事業であったのと、住民への認知不足もあり、該当する助成が当初見込みよりも少なかった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・妊婦旅費助成 ・妊婦宿泊助成	目 標	（ 助成実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	助成実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・母子手帳と領収書による申請をもとに、旅費補助を行ったことにより、産婦人科医療機関のない本町での定住環境の充足を図った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	妊婦旅費助成	目 標	（ 59件 ）	（ 200回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		189回			
	妊婦宿泊助成	目 標	（ 22件 ）	（ 200日間 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		290日間			
	進捗状況説明	・妊婦旅費助成件数 基準値(平成23年度)59件 目標値(平成24年度)200回 実績189回 達成率94.5% ・妊婦宿泊助成件数 基準値(平成23年度)22件 目標値(平成24年度)200日間 実績290日間 達成率145.0% 旅費助成回数は目標値を下回ったが、宿泊助成日数は大幅に上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・補助対象審査の母子手帳および領収書等の提示を徹底する。 ・石垣島と本島での検診回数を定量的に調査する必要がある。	・旅費助成件数が目標値を下回ったのは、住民の認知度が不足していることも考えられるので、わかりやすい広報活動の必要が考えられる。 ・本島での宿泊受診を必要とする場合、初期の見込みよりも宿泊日数を必要とする場合が多いことが伺えるので、よりよいサービスの為にも宿泊費補助の限度額の底上げを検討したい。
今後の取り組み方針		
・母子保健の充実と公平安心な補助を受けるために今後も持続して行く。 なお今後、特別交付税措置措置の検討も予定されているので、重複しないよう留意する。 ・補助対象審査の母子手帳および領収書等の提示をスムーズに行えるよう、手続方法を事前に知ってもらえるわかりやすい広報をする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>882</td><td>882</td><td>705</td><td>177</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 妊婦支援事業 882千円 補助金 882千円 補助対象町民 882千円 〔 妊婦健康診査受診時 渡航費の補助 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	882	882	705	177	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
882	882	705	177	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	☐	支出先の選定方法は妥当か。	・申請者(妊婦)は母子保健手帳により申請し、各申請者の口座に振り込み方式にしたことは、適正であったと考えている。 ・費目・使途については、必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。											
	☐	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	☐	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	☐	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	子育て支援環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部署名	介護福祉課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4			
事業内容	離島・へき地において、地域の中で安心安全に育児・子育てができる環境を整備するため、育児サポーター育成や相互援助活動支援等を実施した。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	517					
		(b) 予算現額	517					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	517					
	B. 執行済額		489					
	うち交付金充当額		391					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		94.6%					
予算の状況の説明		・平成24年度目標に対し、適正な予算であった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	保育サポーター養成講座の開催	目標	（ 1回 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績	1回					
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績						
達成状況説明	・3日間（月日）の保育サポーター養成講座を1箇所（上原地区）で開催し、8名が受講した。 ・ファミサポ会員交流会（月日）が開催され、講座修了者3名と預けたい保護者16名、子ども24名が参加した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	保育サポーター養成講座の開催（修了者数）	目標	（ 0名 ）	（ 5名 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績		8名				
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
	進捗状況説明	・8名の講座終了者が、竹富町ファミリー・サポート・センターのおたすけ会員として活動した。 ・平成24年度 おたすけ会員：8名、おねがい会員：31名、どっちも会員：2名（おたすけ会員＝預かる人、おねがい会員＝預けたい人）						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・講座開催地が1箇所であったため、他離島の住民は参加できなかった。連続した3日間24時間では、受講したいがなかなか都合がつかず受講できない希望者もいた。 ・講座修了が10月、実際の活動開始が12月と時間が空いてしまった。預かる人:10人 預けたい人:33人 の結果から、保育サポーターの目標人数は達成したが当該事業の需要が高いことが伺える。	・1つの島だけでなく、各地で講座受講、会員活動ができるようにする。 ・講座開催や、ファミリー・サポート・センターの活動内容を、より多くの住民に広く知ってもらう。 ・児童数の多い地域で優先的に養成講座を開催し、発展を促す。
今後の取り組み方針		
・年度内のなるべく早い時期に、養成講座を開催する。できる限り、各島内でも受講できるように努め、できない部分は合同で石垣市で開催するような養成講座日程を組む。 ・事業説明や、パンフレット配布など、ファミリー・サポート・センターの活動内容についての周知に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>489</td><td>489</td><td>391</td><td>98</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 489千円 報償費 36千円 講師 36千円 保育サポート養成講座 講師代 旅費 172千円 保育サポート養成講座、ファミリーサポートセンター会員交流会 等 講師:8名、職員3名 需用費 269千円 消耗品 113千円 印刷製本費 156千円 コピー用紙 等 パンフレット:旬八島印刷 活動報告書:大浜印刷 会場使用料 12千円 講座会場(10/12、13、14 多目的施設)使用料 上原地区連合公民館					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	489	489	391	98	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
489	489	391	98	0										
資金の流 使途の点 検、評 価・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	読書支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児・児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として、学校図書室を地域へ開放し学校図書室へ人員を配置して読書支援を行った。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,679					
		(b) 予算現額	1,574					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 105					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,574					
	B. 執行済額		1,574					
	うち交付金充当額		1,259					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・共済費、賃金共に減額となった。賃金に関しては、当初最高額で計算していたため、減額となった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	図書支援員の配置	目 標	(図書支援員の配置)	()	()	()		
		実 績	図書支援員の配置					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・学校図書館支援員を黒島校と小浜校に配置することで、両校の巡回日数が月5回から15回に増えた。それに伴い、地域開放の日数も増え、地域住民が学校図書室を利用する機会が多くなった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	黒島地域住民の図書貸出冊数 (図書貸出冊数調査(独自調査))	目 標	(4冊/月)	(30冊/月)	()	()	(30冊/月)	
		実 績		20冊/月				
	小浜地域住民の図書貸出冊数 (図書貸出冊数調査(独自調査))	目 標	(21冊/月)	(45冊/月)	()	()	(45冊/月)	
		実 績		43冊/月				
	進捗状況説明	・本交付金を利用し読書支援員を黒島校、小浜校に配置することにより23年度と比較して両校の地域住民への図書貸出冊数が増加した。しかし、地域住民への周知が十分ではなかったため、新規の来館者に繋げることができず合計の目標数75冊を下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地域住民への周知が十分ではなかった。 ・地域住民より「学校へは入りづらい」との声が挙がっている。 ・学校図書室は一般向けの図書が少ない。 ・新規の来館者が少ない。	・地域住民への周知の仕方等を話し合う。 ・一般の方がどのような分野の本を読むか、移動図書館を通して調べる。
今後の取り組み方針		
・地域向け便りの作成や移動図書館等で学校図書室の利用を呼びかける。 ・一般向けの図書を県立図書館の一括貸出で借りる。 ・司書研修会で地域開放についての現状と課題を協議し、地域開放の向上に繋げる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）					
竹富町読書支援事業 1,574千円 共済費 159千円 賃金 1,049千円 旅費 366千円 社会保険料負担金 150千円 雇用保険料負担金 9千円 臨時任用職員2名分賃金 H24.12.1～H25.3.31 黒島 185千円 小浜 181千円					
総事業費		交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,574		1,574	1,259	315	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。			
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			・臨時任用職員はハローワークにて募集し、選考の上任命した。賃金・共済等は竹富町規約に準じて契約された。旅費は学校訪問する際の渡航費である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			・事業規模に対し、適切な予算規模・支出先であると考える。

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-②	竹富町内小学校社会3、4年生副読本製版			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身につける 教育の推進		
事業内容	竹富町内の自然・文化・産業を学ぶ社会科学習の充実を図るため、平成18年度～23年度の5年間琉球大学教育学部と連携して作成・編集してきた小学校3、4年生の社会で使用する副読本を製本し、町内各小学校に配布した。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,500					
		(b) 予算現額	1,103					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,397					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,103					
	B. 執行済額		1,103					
	うち交付金充当額		882					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・印刷製本費の予定額が、指名競争入札により大幅に減額することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	副読本の製版及び配布	目 標	(製本・配布)	()	()	()		
		実 績	製本・配布					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成 状況 説明	・小学校社会科において、「地域の産業・地理的環境・社会的事象の観察」等を指導する目標があり、これに伴い地域を題材にした副読本を製本し、町内各小学校へ配布することができた。						
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
副読本配布校数		目 標	()	(13校)	()	()	()	
		実 績		11校				
副読本配布冊数		目 標	()	(150冊)	()	()	()	
		実 績		150冊				
進 捗 状 況 説 明		(当初の成果目標としてあげた学校数13校は間違いであり、対象の小学校は11校である。) ・小学校全対象生徒に予定通り配布できた。 ・授業内容の理解促進に十分活用された。授業終了後回収し、次の使用学年に再配布する。編集内容を5年ごとに更新する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・最新の町内の自然・文化・産業の教本であるため、内容の正確さを十分に精査する必要がある。 ・児童の理解がより深まるような工夫が必要である。	・町内小学校教諭と琉球大学教育学部と連携し編集制作委員会を設置。監修し編集内容を精査した。 ・カラーページを活かし、視覚的に理解を深める内容とした。 ・問いかけ型の文章を含め、児童が自主的に答えを導き出す体験型学習の内容を取り入れた。
今後の取り組み方針		
・毎年5年ごとに内容を検討し、再編集したものを配布する予定なので、今後も制作委員会を設けて編集内容を検討していく。 ・実際の授業の反応を鑑み、児童の理解がより深まるような工夫を創造していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>1,103</td><td>1,103</td><td>882</td><td>221</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,103	1,103	882	221	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,103	1,103	882	221	0										
竹富町 教育委員会 1,103千円 → ・町内小学校教諭 3名編集制作委員 として委嘱 ・琉球大学教育学 部と連携し指導助 言を受ける → 編集 ・製版 作成 作業 → 印刷業者へ 製本発注 1,103千円 → 町内小 学校へ 配布														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札による印刷業者の選定であり、妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町									
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	5-③		ライフジャケット設置事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所		災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
事業内容	竹富町は島嶼地域であり、いずれの教育施設も津波等による多大な被害が想定される。災害対策は緊急の課題であるため、町内全幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒及び全職員に地震・津波・洪水等に備えるための災害救命胴衣を配布設置した。 (平成24年度概要) ・幼稚園児用救命胴衣 76個 ・小学生低学年用 84個 ・中学生用 98個 ・小学生中学年用 75個 ・小学生高学年用 70個 ・大人用(教職員) 188個									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
			(a)当初予算額		5,884					
			(b)予算現額		5,698					
			(c)増減額(b-a)		▲186					
			(d)前年度繰越額		—					
	A.計(b+d)		5,698							
	B.執行済額		5,698							
	うち交付金充当額		4,558							
	次年度繰越額		0							
	執行率(%) (B/A)		100.0%							
予算の状況の説明		・指名入札したことで物品単価が下がり予算減額することができた。事業内容に対しては、適正な予算措置であった。								
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況						
				24年度	25年度	26年度	27年度			
	ライフジャケットを全校に配置			目 標	(全校に配置)	()	()	()		
				実 績	全校に配置					
				目 標	()	()	()	()		
				実 績						
達成状況説明	・竹富町内の全ての小中学校と幼稚園に、全児童生徒分と全職員分のライフジャケットを配置した。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
	小中学校におけるライフジャケット設置率:100%			目 標	() (設置率100%)	()	()	()		
				実 績		設置率100%				
				目 標	()	()	()	()		
				実 績						
	進捗状況説明	・備品を配布して安心するのではなく、防災意識を高くもつよう指導していきたい。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・配布するだけでなく、必要なときにライフジャケットを正しく使用できるよう、配布後の保管・管理方法や使用方法の熟知が必要である。	・配布後の保管に関しては、専用収納袋(リュックサックタイプ)で保管し、各学校で災害時に素早く取り出せるような場所及び製品の耐久力を長持ちさせる場所での保管を徹底する。 ・避難訓練等で使用方法の指導をしてゆく。
今後の取り組み方針		
・島嶼地域である本町は、災害時における救助活動が遅滞する可能性が大きく、また、各学校の設置海拔が低く、かつ海からの学校までの距離は1.5kmしかなく、すべての学校が沿岸部に立地している。東日本大震災等を受け、本県・本町においても災害時に対する備えが喫緊の課題となっている。備品を配布して安心するのではなく、防災意識を高くもつよう指導していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,698</td><td>5,698</td><td>4,558</td><td>1,140</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 5,698千円 → 入札 執行 → 業者選定 指名入札 → 物品売買 契約締結 5,698千円 → ライフ ジャケット 購入 笹尾商工 株式会社 → 各園・ 小中学校 納品検収 → ライフジャケット 支払 5,698千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,698	5,698	4,558	1,140	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,698	5,698	4,558	1,140	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・売買契約選定は指名入札制を行っており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-④	竹富町児童・生徒の心と体を育む支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	5-(3)-イ		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24～34年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心たくましい体を育む教育の推進		
事業内容	日本最南端の町である竹富では、児童生徒の遠征活動に保護者の負担が大きく重なり十分な課外活動が行いにくい状態にある。そこで町内の児童生徒が町外へ選手や各種コンクール等の受賞者として派遣される場合の船賃・航空運賃及び宿泊費を派遣費補助規定に基づき遠征費補助を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,650					
		(b) 予算現額	1,803					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 847					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,803					
	B. 執行済額		1,719					
	うち交付金充当額		1,375					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		95.3%					
予算の状況の説明		・遠征費の当初見込額のずれが生じ、予算減額となった。石垣までの船賃が発生する児童が予定より大幅に増えたが、本島・県外等航空運賃が発生する児童が少なかった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	児童生徒派遣費助成	目 標	(派遣費助成)	()	()	()		
		実 績	派遣費助成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・これまで運動競技の派遣費が殆どであったが、本事業を取り入れることにより、文化的活動大会、コンクール、コンテスト等、補助範囲の拡大、また、各種大会への参加により、児童生徒が豊かな体験ができ個性の伸長と人材育成に繋がった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	児童生徒選手等派遣人数：280人	目 標	()	(280人)	()	()	()	
		実 績		442人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・運動競技のみならず、文化的活動大会、コンクール、コンテスト等における表彰でも補助ができ、目標人数を大幅に上回ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本年度は年度途中からの補助開始であったため、対象児童の公平さを保つためにも、年度末及び年度初めに補助が必要な大会等参加児童らに対応できるよう補助交付を迅速に行う。	・補助交付要綱が適正か検証する必要がある。 ・本年度は航空運賃及び宿泊費が発生する補助が少なかったため、利用者増に対し執行予算減となった。これにともない、適正な予算計上が必要である。
今後の取り組み方針		
・離島の離島ということで、文化・スポーツ面において遠征等経済的に不利な面があるが、本支援事業をもって保護者負担を軽くし、児童生徒の健全な育成を図るためにも今後とも継続していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>1,719</td><td>1,719</td><td>1,375</td><td>344</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,719	1,719	1,375	344	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,719	1,719	1,375	344	0										
各小中学校から派遣費補助申請 1,719千円 → 教育委員会で受付(精査・決定) → 関係小中学校へ補助金の決定通知書発送及び振込手続き → (概算払) ・小学校(235千円) ・中学校(1,484千円) → 学校は教育委員会へ実績報告書提出 → 教育委員会(精算払) → 関係小中学校へ確定通知書発送														
資金の 使途の 流れ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		△本島・県外など航空運賃・宿泊費が必要な補助が年間でどの程度あるのか調査し、適正な予算措置が必要である。										
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	簡易水道施設遠方監視装置整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア		
担当部課名	水道課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備		
事業内容	島嶼地域である本町での安定的な給水体制や観光客受入体制及び離島での観光産業をはじめとする地域産業を確立するため、簡易水道施設の遠方監視装置のシステム及び設備整備を実施した。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	49,690				
		(b) 予算現額	48,772				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 918				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	48,772				
	B. 執行済額		48,771				
	うち交付金充当額		39,016				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	水道施設遠方監視装置設置	目 標	(設置)	()	()	()	
		実 績	設置				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・既存監視装置9箇所に加えて、今回新たに水源地5箇所へ監視カメラを設置し、本庁舎内システムにて常時監視が可能になった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	水道施設における遠方監視装置設置数	目 標	(9箇所)	(14箇所)	()	()	()
		実 績		14箇所			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・既存監視装置9箇所に加えて、今回新たに水源地5箇所へ監視カメラを新設し、本庁舎内システムにて常時監視が可能になった。島嶼地域である本町では海底送水を行う島が多く、海底送電も合わせてライフラインの異常・故障は住民の死活問題になる。異常・故障の早期発見及び早期解決するために、遠方監視装置を十分活用していけるよう検証し続ける。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業の推進にあたっては、特に課題や問題点等は無く、当初の計画通りに施行が行え、スムーズな事業推進ができた。	・今回新設分(監視カメラ設置:5台)については、計画通りに事業推進ができたが、今後は更に監視を強化する為、監視箇所(浄水場や配水池等)を増やし、総合的な一括監視を行えるようにしたい。
今後の取り組み方針		
・今後は、当該事業で設置した監視システムにより水源状況を常時監視し、水道の安定供給に努めたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>48,771</td><td>48,771</td><td>39,016</td><td>9,755</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 48,771千円 委託料 2,415千円 工事費 46,200千円 事務費 156千円 (株)隆盛コンサルタント 2,415千円 (株)沖電システム 46,200千円 旅費 (工事に係る設計委託業務) (遠方監視装置設置工事)					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	48,771	48,771	39,016	9,755	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
48,771	48,771	39,016	9,755	0										
資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7	福岡戸籍電子化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ		
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決		
事業内容	沖縄は戦災で多くの戸籍を焼失して以降、本土日本政府による仮戸籍(福岡戸籍)と、米軍統治下にある琉球政府の戸籍との2重戸籍時代が続いたため、現在も戸籍錯誤事件が起きている。本事業では戸籍問題の資料として用いる仮戸籍(福岡戸籍)の用紙劣化が激しいため、電子データとして登録し整理を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,616					
		(b)予算現額	4,602					
		(c)増減額(b-a)	▲1,014					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	4,602					
	B.執行済額		4,602					
	うち交付金充当額		3,681					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・選定企業による見積金額が当初予算を下回ったため、予算を減額した。予定事業はすべて完了した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	福岡戸籍の電子化の実施	目標	(電子化実施)	()	()	()		
		実績	電子化実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・10月に竹富町役場本庁において福岡戸籍の撮影作業を行い、1月～2月にかけて撮影後の福岡戸籍のチェック作業と福岡戸籍ソフトウェアに搭載する見出し不明リストのチェック作業を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	福岡戸籍の電子化実施率:100%	目標	(0%)	(100%)	()	()	()	
		実績		100%				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	・撮影した福岡戸籍の中に電子化の難しい戸籍の附票が3件あったが、その他すべての福岡戸籍の電子化は完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・福岡戸籍は用紙の劣化が著しいので、電子データに登録する際に読み違いなどで2重戸籍問題にならないよう注意しなければならない。	・職員と委託企業との2重チェックを徹底した。
今後の取り組み方針		
・データ化した福岡戸籍を現在の戸籍と照会をかけ続け、錯誤のないものに仕上げて住民サービスの安定供給に努めたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>4,602</td><td>4,602</td><td>3,681</td><td>921</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 4,602千円 → 委託料 4,602千円 → 株式会社 オーシーシー 4,602千円 沖縄特殊戸籍システムソフトウェア導入委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	4,602	4,602	3,681	921	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
4,602	4,602	3,681	921	0										
資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・特殊ソフトウェアに関する知識・実績のある企業を選定したので、適正だったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												